

琉球大学学術リポジトリ

小供の小学校入学をむかえて

メタデータ	言語: 出版者: 琉球大学農家政学部 公開日: 2011-05-24 キーワード (Ja): キーワード (En): 作成者: 宮里, 澄子 メールアドレス: 所属:
URL	http://hdl.handle.net/20.500.12000/19928

小供の小学校入学をむかえて

入学の時期になりました。今年から学校に上るお子様をお持ちの御家庭では、何かと入学の御準備に心を配られていらつしやることと存じます。そこで、今月は入学にそなえてのいろいろな心がけと、そのころの年令の子供達のしついや、とり扱い方について御一緒に考えて見ましよう。

(1) 不安なく入学を迎えさせましよう

入学前の子供は、学校に対して大きな期待と同時に、ある不安を持っているものです。その不安をなくするようにつとめましよう。よく入学前の子供がいうことをきかないと、「先生におられる」とおどかさ家庭を見かけます。勿論、教師を必要以上に偶像視することもよくないのですが、子供の先生に対する信頼感をさまたげるような言動はつつしむべきです。先生には親しみを感じるようにしむけましよう。

(2) 入学前にはどの位字がよめたら良いでしょうか

入学前になつて、大急ぎで子供のいやがるのを無理に字を覚えさせようとする御家庭もあるようですが、あまり知りすぎると学校へ出てから先生のおつしやることをまじめに聞かなくて困るとか、本人も学校でやるものがすでに知っているものだけでと自然に興味を失つてしまふことさえあります。ですから入学前には、自分の名前がひらがなで読めて書ける程度で良いと思います。

(3) かずの指導は実生活を通して

子供が歌でも歌うように一、二、三、四、を得意になつていつている様子を見ますが、これは決して数を理解しているのではないのです。子供が本当に理解出来るのは、もつと実際的なこと、すなわちお母さんからアメ玉を三つもらつた。それに祖母さんから二つもらつた。みんなでいくつかということや、お父さんにビスケットを四つもらつて弟に二つ分けてやつた、自分のものはいくつか、というようにただけなのです。ですから、さんすうの指導は絶えず生活と結びつけながらすると効果があります。

(4) 通学道路をきめましよう

学校に通う道はあらかじめ危険でない近い道を見つけて、お散歩の折にでも教えておいたら良いと思います。

(5) 学校では「はい」と「いいえ」が使えるように

学校の先生方の困るのは、意志表示をしない子供です。これはがいして消極的な子供に多いのですが、又前にも申しました先生はこわいものという観念をうえつけられたために、先生に何かきかれても、うつかり返事するとおこられるかも知れない、という意識が絶えず働くために「はい」「いいえ」のいいない子供になるということもめずらしくないようです。「はい」と「いいえ」はだれにきかれてもはつきり答えられるように導きましよう。

(6) 洋服の着脱や、靴のひもを一人で結べるでしょうか

普通、小学校入学までには簡単なものでしたら脱着や、くつのひもを結ぶのは一人で出来るべきでしょうが、案外これの出事の子供は少ないようです。学校に上る前には、脱着の練習やひもの結び方の訓練も必要で、そのためには便利な型をえらぶように致します。

(7) 子供に責任をもたせましよう

入学は子供にとつて大人が想像する以上に大きな出来事です。自分が急に大人になつたような気持をおこさせるものです。そこで、家族もその子を一人前として扱うようにしたら良いと思います。

例えば、入学を境に何か責任をもたせて仕事をさせたりかがでたらか。毎日の新聞を整理する仕事でも良いし、又は何処か一部屋のお掃除でも良いのです。きつと喜んで参加するでしょうし、それによつて責任感を強くすることも出来ます。一つの仕事に責任を持つ子供は、他の仕事に対しても同じように出来るものです。又時には一寸したお買物を頼んで、金銭の指導と一緒に上手なお買物の仕方も学ばせましよう。

(8) 話し方を導きましよう

学校に行くようになりますと、今までのように絶えず母親の目のとどく所に居るわけではありませんが、お母さまとしても、子供が学校でどういう風な様子か知りたいとお思いになります。一方子供の方でも新しい生活で珍しいことばかりなので、お母さんになんでもお話ししたくてたまらないのです。「うるさいの

ら、です。セメント1m³の重量は、一、五〇〇kgを標準にしておりませんが、セメントを軽く入れると、一、二五〇—一、三〇〇kgにしかならないが反対に入れものをゆり動かして入れると二、〇〇〇kgにもなります。又砂1m³の重さは、乾いたものを突き固めると一、五二〇—一、八五〇kg、軽く盛ると、一、四〇〇—一、六〇〇kgです。また砂は湿ると容積が増すから注意を要します。すなわち、重量で5—6%の水を含むと容積で一〇—三〇%も増加するし、砂粒が細いほどふくらみが大きくなります。砂利は突き固めると一、四八〇—一、六八〇kg、軽く盛つた場合は、一、四五〇—一、五五〇kg程度となるが、砂のように大差はない。

(四頁からつづき)

ね」などとおつしやらずに五分か十分でも結構ですから、お洗濯やアイロンかけをなさりながらでもおはなしをきいてあげて下さい。そうする事は母子の信頼を一層強くすると共に、子供の話し方の良い練習の機会にもなるのです。

(9) 科学的な生活に目をむけましょう

大部分の子供は植物や動物が好きです。入学と同時に、花を育てるとか、動物の世話をする仕事を与えて見てはいかがでしょう。

植物にも、はじめは水をやる事だけに楽しみを見出ししていた子供も、次第に芽の出方や花の開き方、めしべ、おしべ、についても関心を持つようになり、科学的な目が開かれて参ります。

第二表

セメント	砂	砂利	
(1)	1:	1: 2	厚みのうすい構造物で水密性を必要とするもの
(2)	1:	1.5: 3	上に準ずるもの
(3)	1:	2: 4	強度水密ともに適当な配合で鉄筋コンクリートに用いてよい
(4)	1:	3: 6	強度水密をそれほど必要としないものに使用する鉄筋コンクリートに使用してはならない
(5)	1:	4: 8	強度も弱く水密性も無い基礎の捨てコンクリートに用いる

(10) 子供に勉強の場を与えましょう。

勉強するようにうるさくいうよりは、お勉強のしたくなるような環境を作つてやる方が大切です。子供専用の勉強部屋を持つことは理想的ですけれど、それが困るんな場合は、カーテンでもしきつて、せめて勉強の場を作つてやる必要があります。それによつて自立の精神も養われます。

いろいろな事を思いつくままに申しあげて見たわけですが、何といつても入学という新しい出来事のためにしばらくはとても疲れるものですから、学校から帰りましたら出来るだけ身体をやすめるように気を配つてあげて下さい。

以上のように、容積で計量すると差異があるが大工事でない場合に材料を重さで計量するのは美にはん雑であるから、容積比で配合することも良い。この場合注意しなければならぬことは、材料を計る時、つめこみ加減を常に一定にする。砂がぬれている時は二割位量を増してやる。十分注意してやれば容積比でやつても割合に良いものが出る。

配合比は構造物の種類、用途などによつて、それに適応したものをを用いるが、大体第二表のような標準にするのがよい。

農村で使用するコンクリートの配合としては、普通第二表の3・4がもつとも使い易いものである。

(仲田元一)

よくいわれますように入学を楽しい気持ちで迎えることの出来た子供は、その後新しい経験にあうたびにやはり自信をもつて行動出来るのに反して、入学の時に不安な気持を持つた人は、その後もその影響があるものです。そういう意味でも、この大切な入学を十分な心配りをしてあげることによつて意義深いものにしてあげられるよう努力致しましょう。

(宮里澄子)